

転倒転落防止情報28

付き添い歩行ってどうしたらいい？



転倒防止対策としてよく耳にする【付き添い歩行】
せつかく付き添ってても転倒する事例が散見されます。
みなさんは、どのように付き添って歩いていますか？

これくらいの
距離感？

理学療法士に学ぶ！付き添い歩行のポイント

付き添い歩行が必要ということは、いつ転倒してもおかしくない状態ということ。
いざという時に支えられるように、身体の一部に手を添えておきます。

膝折れしそうな(筋力低下のある)
患者さんの場合



パターン①
脇の下に手を添える



パターン②
ズボンのウエスト部分を持つ

上着だけではなく、ズボンのウエスト部分をしっかりと持ち持つこと

左右への動揺が大きい
患者さんの場合



真後ろに立って肩に
軽く手を添える

転倒しそうだ！ どうやって支える？

パターン①
脇の下とズボンのウエスト部分をしっかりと保持して身体を支える



支えきれなくても、このままゆっくりと腰を下ろすと、患者さんの負傷を防ぐことができます。

パターン②
両脇に手を入れ、介助者の片膝に座らせるように支える

